

# 学校プロフィール

学校名( 鈴鹿市立椿小学校 )

【平成30年4月】

## 1. 目指す学校像について

項目	内容
(1) 目指す学校像	<ul style="list-style-type: none"> <li>○確かな学力を身につけた子どもを育む学校</li> <li>○心身ともに健康でたくましい子どもを育む学校</li> <li>○命と人権を大切に、安心して楽しく学べる学校</li> <li>○家庭や地域と連携・協働する学校</li> </ul>
(2) ありたい姿(実現したい学校の状態)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもがいきいきと活動できる教育</li> <li>○日々授業改善、指導力の向上に努め、確かな学力を保障できる教育</li> <li>○児童理解に努め、心身ともに健やかな子どもを育成する教育。</li> <li>○自他の大切さを認めあい、共に生きる力を育成する教育。</li> <li>○安全管理と安全教育が充実した、安全・安心な学校。</li> <li>○家庭・地域と連携した開かれた学校。</li> </ul>

## 2. 現状の認識について

(1) 「価値」を提供する相手方		
① 相手方の区分	②現在の要求・期待	
児童	<ul style="list-style-type: none"> <li>○楽しい学校 ○よくわかる授業 ○いじめのない学校</li> <li>○自分自身のレベルアップ</li> </ul>	
保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学力向上 ○安全・安心な学校 ○いじめや不登校のない学校</li> </ul>	
地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の人々と交流する学校</li> </ul>	
(2) パートナー		
①パートナーの区分	②パートナーからの要望・期待	③パートナーへの要望・期待
保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学力向上 ○安全・安心な学校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校づくりへの協働</li> </ul>
地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>○開かれた学校 ○地域との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○パトロールやボランティアへの協力</li> </ul>
中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>○9年間を見越した教育</li> <li>○基本的生活習慣</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中1ギャップ解消に向けた連携の強化</li> <li>○実践交流</li> </ul>
幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>○交流 ○情報交換</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小1プロブレム解消に向けた連携</li> </ul>
(3) 組織の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>○何事にも一生懸命取り組む素直な子どもたちであり、人間関係も安定している。</li> <li>○言語活動の充実の観点から、学力向上の取組の充実が必要である。</li> <li>○少子化により、帰宅後、近くに遊ぶ子がいない。</li> <li>○保護者や地域の学校教育への関心が高く、協力的である。</li> <li>○長距離通学児童が多く、さらに新名神建設工事・関連工事に伴った交通量の増加により、登下校の安全確保が課題となっている。</li> </ul>	

## 3. 目指す学校像実現のための重要な視点(方針)について

(1) 重点化に向けた視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○確かな学力を保証するため、指導法・授業改善に努め、指導力の向上を目指す。</li> <li>○単級のデメリットを補うため、縦割り班活動を取り入れた取組を充実させる。</li> <li>○児童理解に努め、心身ともに健やかな子どもを育成する。</li> <li>○心の教育を推進する。</li> <li>○安全管理と安全教育の充実・徹底を図る。</li> <li>○家庭・地域と連携し学校教育活動の充実を図る。</li> </ul>
(2) 上記の背景・理由	<p>学校教育目標「自ら学び、力を合わせてやりぬく子どもの育成」にむけ、子どもの状態に即した学校教育活動を推進していく必要がある。また、学校、保護者、地域が目標を同じくし、協働した取組をさらに充実させていく必要がある。</p>